

かみばろー

平成 23 年 7 月 24 日
第 2 2 2 号
清野新聞社

上芭露中学校

二度目の修学旅行(修)

四年前の卒業四〇周年のクラス会で、次回は還暦を皆で集まって祝うことになっていました。クラスは全国に散らばっていることから、皆の交通の便を考えると、今回は札幌定山溪温泉にしました。



クラーク像前

クラーク像前で記念撮影し、「大志の誓い」に還暦記念と全員の名前を記載して投函し

ところが、途中離村で修学旅行に一緒にいたってない者がいたり、遠くから出席する者は、せっかくの機会なので故郷出てきました。

【七月十六日(土) 札幌定山溪】 内地から二名(準一、勝憲)が先発で前日に北海道入りしており当日は羽田空港から四名(修、広子、静子、美智代)が同便で、遠軽から車で三名(和彦、静子、郁子)、地元札幌から五名(寛、孝司、利栄子、紀子夫妻)の総勢十四名が「羊が丘」で待ち合わせしました。



クラス会：ホテル鹿の湯

ました。永久保存で年月日と氏名を言えば何十年後でも対面できるそうです。東海大学のラベンダー畑などを巡って夕方定山溪温泉のホテル「鹿の湯」に到着。ひと風呂浴びて六時半から「還暦祝いクラス会」です。全員から近況報告のスピーチなどを行い、酒が入ってくると話に花が咲いてきます。年齢の割には皆元気で、口だけは一向に衰えないようです。九時に東日本大震災に一番近かった勝憲の音頭で中締めし、風呂に入り直してから幹事部屋に集まって二次会となりました。途中、休憩してはまた起きてくる者もありましたが、還暦を自覚して十二時過ぎにお開きとしました。約何



名かは延々とやっていたようですが。【七月十七日(日) 遠軽】 数名を残してほぼ皆元気に朝食を終えて九時頃に三台に分乗して出発。小樽まで一時間ほど、雨はあがってきて散策には気持ちがいい気温です。連日猛暑の内地から来た者には天国でした。昼食を予約している「魚真」に駐車し、運河周辺を散歩して、昼頃に準一は名古屋セントレア空港経由で帰途へ。その後「堺町本通り」を買い物散策、通りはかなり長く「お父さん預かります」の看板の意味が解り



小樽運河

ました。二日酔いでお疲れの者と
買った物が先行する女性との足並み
が違い、途中何かの行方不明者
を出しながら昼食へ。昼食の鮎は
さすがに港町小樽らしい内容でし
た。

一時過ぎに二名（孝司、勝憲）
が別れて帰途へ、残り二台で遠軽
方面に出発、途中砂川ハイウェイ
オアシスで休憩と買い物。旭川（広
子）と上川（郁子）で下車して、遠軽
には六時ころ到着しました。

我々クラス会のなじみの店「ゆ
うあい通り」の「味の一番」で六
時半から遠軽地区「クラス会」で
す。

札幌定山溪まで行けなかった六
名（裕次、誠一、慎吾、俊枝、紀



遠軽「味の一番」

子、志保子）が新たに出席しまし
た。こちらは総勢十四名の宴会と
なりました。

宴会も二日目となるとかなり強
烈な「ボケとツツコミ」が展開さ
れ、大笑いの宴席となりました。

嫁姑や両親介護なども皆に共通
する大きな話題でした。

紋別・網走まで日帰りの者がい
るので九時半ころに中締め記念写
真、閉店前の十一時頃にお開きと
しました。

【七月十八日(月)上芭露】

遠軽町内のホテルに泊した三名
（利栄子、静子、美智代）と寛、
私の五人で閉校記念碑へ行って記
念写真、記念樹は立派に成長して
いました。その後市街地を散策し
ました。件数が激減し市街の面影
すらなくなっていました。森の中
に佐々木さんの古い家がまだ残
っているのが解りました。

志撫子海岸の丸山展望台へ行っ
たところ、霧が出てきて視界不良、
内陸へ方向転換し、上湧別、遠軽
の巖望岩などを廻って三八ラーメ
ンで昼食休憩。

遠軽駅前午後一時過ぎに別れ、
二泊三日の修学旅行は解散となり
ました。もつとも私は慎吾とその
晩も一杯飲んだので三連ちゃん
でした。

【振り返り】

今回は前回参加できなかった者
で七名が新たに参加し、二か所、

のべ二十人が出席しました。

また全てメールでのやり取りと
したので戸惑った者もいたかもし
れませんが、今後のことも考える
と、綿密なコミュニケーションが
できたので良かったと思います。

あと数名アドレスを持たない人は
頑張りましょう。

十八日朝は女子サッカーワール
ドカップの試合を見るつもりでし
たが残念ながら深酒で起きること
ができませんでした。しかし、な
でしこジャンプの優勝に感動！同
時に我がクラスを含めて女性が元
気なのは驚きです。今回新たに
発見したのは、男は頭で話します
が女は口だけで喋ることができ
ることです。いくら笑っても皺はそ
れ以上増えようがないようなので
すが、あれだけ喋り続けて口が疲
れないものだと感じました。

私たちは保育所まで含めると十
一年間クラ

ス替えなし
で一緒だっ
たことにな
り、全員が
幼馴染、兄
弟のような
ものです。
どんなに頑
張っても幼
友達はこれ
から作るこ
とは不可能



閉校記念碑、記念樹



遠軽巖望岩展望台

です。

残念ながら、亡くなったり、体
調不良、家族や仕事の都合などで
参加できなかった者もいます。今
回参加し皆と会えただけでも実は
皆十分に幸せなことで、家族や健
康に感謝しなければいけないと実
感しました。

今年が四年ぶりだったので、次
回は三年後との意見が多かったよ
うです。したがって、その次は二
年後となりそうです。

【上芭露の近況】

老人会の旭川方面へのバス旅行
があり、たまたま市街地散策中
に出发するバスを手を振って見送
りました。人数も減って、老人会
もかなり高齢化しているとのこと。
若いと思っていた農業後継者も
高齢化し、その次の世代がどうな
るか課題です。